

2019年度 推薦入学試験（一般推薦等） 総合文化学部 人間福祉学科
「出題の意図」

1. 実施状況

志願者数・合格者数

①社会福祉専攻

志願者数	合格者数
26	26

②心理カウンセリング専攻

志願者数	合格者数
23	23

※一般推薦（指定校含む）、文化活動推薦、専門・総合推薦の総計

2-1. 人間福祉学科 社会福祉専攻 アドミッション・ポリシー

社会福祉専攻では、以下のような志願者を求めています。

1. 将来、社会の各分野で社会福祉の専門家として働くことを強く希望し、その素質が十分であると認められる人物。
 2. 社会福祉の分野に活かせる具体的な能力や技能を有し、大学での勉学や将来において活用が期待できる人物。
 3. 将来、アジアや太平洋地域をはじめとする国際的な場における支援活動に参加することを熱望する人物。
- 上記に加えて、A O型入学試験では、以下のいずれかに該当する学生を歓迎します。

- ・社会的マイノリティーの問題を自分の問題として考えられる人
- ・グローバルな視点をもつ人
- ・知的探求心と批判的な思考力を培い、積極的に社会に参画したい人
- ・他者の個性、多様性に寄り添い、他者と一緒に社会の状況を正しく認識し、問題解決のためのスキルを身につけたい人
- ・リーダーシップを発揮できる人。また、自分や他者を肯定的に捉えることができる人
- ・他者と協調、共創するコミュニケーション能力を持つ人

2-2. 人間福祉学科 心理カウンセリング専攻 アドミッション・ポリシー

人間福祉学科心理カウンセリング専攻は、沖縄国際大学の「アドミッション・ポリシー」を以下の通り具現化し、人間のこころに関心を持ち、自らの個性と人間力の向上に努める人物を求めます。

1. 人間の「こころと行動」と「人と人とのつながり」について学ぶ意欲と関心を持つ人物。
2. 大学で学ぶことに強い意欲と関心を持ち、自ら学び、常に自己研鑽、自己成長に努める人物。（自分を成長させようという意欲と態度を持つ人）
3. 人間のこころや行動の成り立ち、働きについて、心理学的な立場からの確に理解し、日常生活に実践的に応用したいという真摯な態度を持つ人物。

A O型入学試験では上記に加えて、

- ①人間のこころについて科学的な視点（実験・調査・観察・統計など）から学ぶ意欲のある人
- ②これまでに意欲的に取り組んできた活動や得意分野が、大学で学びたいことに結びついている人を求めます。

3. 出題の意図

今回の小論文試験問題の意図は、本学人間福祉学科社会福祉専攻のアドミッションポリシーの1.「社会福祉の専門家としての素質」と2.「社会福祉分野に活かせる具体的な能力や技能」および「大学での勉学や将来において活用が期待できる人物」、そして同人間福祉学科心理カウンセリング専攻のアドミッションポリシーの1.「人間の『こころと行動』と『人と人とのつながり』について学ぶ意欲と関心を持つ人物」と2.「大学で学ぶことに強い意欲と関心を持ち、自ら学び、常に自己研鑽、自己成長に努める人物(自分を成長させようという意欲と態度を持つ人)」を判断するものである。人間福祉学科社会福祉専攻において社会福祉学および心理学を学ぶにあたり、受験生がどの程度準備ができていくかを見極めていくことを目的とした出題である。昨今自然災害に関わるニュースは珍しいものではない。受験生が自然災害やその被災者に対しどのような関心や意見を持っているかということ、彼らの大学における学びの準備性を判断する材料としている。さらに、彼らの関心・意見を整理して論理的に文章にすることができる能力を見るものである。

4. その他特記事項（評価のポイント・アドバイスなど）

今回の出題に当たっては、(1)社会の出来事に関してどれくらいの知識・関心をもっているのか、(2)これら出来事をめぐる世の中のやりとり（報道のあり方・意見/世論など）をどの程度知っているのか、(3)これら出来事やそれをめぐる世の中のやりとりに対してどういう意見を持っているのか・意見を持つことができているのか、(4)自分の知っていることと意見として持っていることを、関連づけて自分の考えとして作文していく能力があるのか、の4つが評価のポイントとなっている。